

EV 向け現場充電サービス実証実験を実施

2022年4月14日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）、MS & ADグランアシスタンス株式会社（代表取締役社長：渡辺 敏男）、株式会社トータスカーアシスタンス（代表取締役：亀山 善之）、Bell Energy 株式会社（代表取締役社長：鈴木 勝蔵）は、将来的なEVの普及・拡大と、電欠※トラブルの解消を見据えたEV向け現場充電サービスの実証実験を5月から実施します。

※：電欠：EVの充電されていた電気を使い切り、動けなくなる状況

1. 背景

カーボンニュートラルに向けた取組みが世界中で加速し、国内外におけるEVの普及・拡大が見込まれており、ユーザーが安心してEVを利用できる環境づくりが求められています。これを実現するために、車両・バッテリーのさらなる技術進展や充電インフラの整備が進められていますが、走行中の電欠時など万の際にスピーディーに対応できる仕組みを構築することも必要です。

一般的に、ガソリン車がガス欠になった場合は、その場で応急的に給油するサービスが提供されていますが、EVが電欠となった場合には最寄りの充電スポットまでレッカー搬送されます。レッカー搬送を行う場合、レッカー車への積み下ろし作業や充電スポットまでの移動に時間がかかるケースもあり、結果としてドライバーの当初予定の変更を余儀なくされることが課題となっています。

このような状況を踏まえ、今般、EV向けの新技術を活用し電欠発生現場にて充電を行うことが出来る現場充電サービスの実効性の検証などを目的に、4社共同で実証実験を実施することとなりました。

2. 「EV向け現場充電サービス実証実験」について

(1) 実証実験の概要

あいおいニッセイ同和損保、MS & ADグランアシスタンス、トータスカーアシスタンスがロードサービス事業で培ったノウハウと、Bell Energyが販売するポータブルEV急速充電器「Roadie（ローディー）」を活用し、「①現場充電サービスの実効性」、「②現場充電サービス導入によるEV利用促進効果」の検証を目指します。

〈実証実験イメージ〉 ※今後変更となる可能性があります



(2) 「EV向け現場充電サービス」によって想定されるお客さまのメリット

従来（最寄りの充電スポットまでのレッカー搬送）と異なり、電欠現場で約20分充電するだけで運転を再開することが可能です。20分の充電による航続距離は約40kmです。電欠現場で復旧作業が完了するため、電欠発生から復旧までにかかる時間の約1時間以上の短縮が見込まれます。これにより、お客さまは当初予定の変更を最小限に留めることが可能になります。

(3) 「EV 向け現場充電サービス」で使用する急速充電器

「Roadie」は、世界初にして唯一のモジュール式ポータブル EV 急速充電器として開発されました。「どこでも急速充電」をコンセプトに、外部入力設備が不要、完全スタンドアロン設計です。最大 20KW (DC) の高出力を実現、僅か 10 分の EV 充電で距離にして 20km 以上の追加走行を初めて可能にしたものです。

<ポータブル EV 急速充電器「Roadie (ローディー)」>



製造メーカー	SparkCharge (日本での販売はBell Energy)
寸法	60cmx350cmx23cm
重量	CHAdeMOユニット：23.2kg 蓄電池ユニット：30.8kg
蓄電池容量	3.5kWh / ユニット (10分の充電で約20km走行可能)

3. 今後の展開

政府は 2021 年 6 月に発表した「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において、充電インフラ不足が電動車普及の妨げになっているとの言及を踏まえ、2030 年までにガソリン車並みの利便性を実現することを目指しています。

4 社は本実証実験を通じて得られたノウハウを活用し、EV の普及に合わせた EV 現場充電サービスの提供を目指し、誰もが安心して EV を利用できる環境づくりとともに、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献していきます。

(参考) あいおいニッセイ同和損保について

あいおいニッセイ同和損保は「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会・地域課題解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」(シーエスブイ バイ ディーエックス)というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。本実証実験で得た知見を基に、EV 普及・拡大やお客さま利便性向上に資する商品・サービスを検討していきます。

(参考) MS & AD グランアシスタンスについて

MS&AD インシュアランスグループの総合アシスタンス企業として、ロードアシスタンスを中心にハウスサポート、海外旅行アシスタンスなど、広範囲な事業領域の遂行力を強みとしています。今後、次世代ビジネスの領域においてもその発展と持続の一助となることを目指し、お客さま満足度の高いサービスを研究していきます。

(参考) トータス カーアシスタンスについて

都内を中心に 24 時間 365 日、事故車・故障車の救援業務に携わっております。今回の実証実験において EV ユーザーがかかえている電欠の不安を少しでも解消すべく安全・安心なサービスの検証を進めていきます。

(参考) Bell Energy について

Bell Energy 株式会社は、EV 充電インフラ関連機器の普及に鋭意取り組んでいます。今回の共創への参画を通じて、「Roadie」が EV 普及の課題とされる電欠問題解決の切り札として、EV ユーザーの安心を担うことを期待します。

以上